

幼児教育分野

受け入れ人数は原則として8名とする。

希望者超過の際はくじ・抽選等を行う。

1. 何を学ぶのか

幼児期の発達特性を踏まえ、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育のあり方を考えます。小学校教育との接続を視野に入れながら、幼稚園教育要領に示された各領域のねらい及び内容に基づいて展開される教育課程と指導方法について学びます。人生で初めて受ける公教育である幼児教育の責任は重く、「教科書」がない分、幼稚園教諭には高度な専門性が求められます。

※卒業要件を満たすことにより取得できるのは、小学校教諭1種免許状

2. 幼児教育分野関連科目群の授業

➡『学生便覧』参照 ※他分野・他専攻学生も履修可。

幼児教育学に関する科目、幼児の心理発達に関する科目、保育内容に関する科目などがあります。専任教員の他、幼児音楽や造形表現など現場経験の豊富な非常勤講師によって、講義、演習、実技などの授業が展開されています。また「教育フィールド研究Ⅱ」では、附属幼稚園や近隣保育園での観察実習を通して、幼児理解や保育実践について体験的に学びます。どの授業でも、教育現場に出てすぐに役立つというだけでなく、理論と実践の往還過程を重視しています。

3. よくある質問・誤解と、それに対する回答

Q1. 幼児教育分野でしか、幼稚園教諭普通免許状を取得できないのか？

➡A. 幼稚園教諭普通免許状は1種・2種どちらであっても、他分野・他専攻でも取得可能です（『学生便覧』参照）。そもそも特定の分野・専攻でしか取得できない免許は、本キャンパスにありません。なお幼児教育分野学生であっても、幼稚園教諭普通免許状を取得せずに卒業することが可能です。

Q2. 幼児教育分野に行くのと、幼稚園教諭になるうえで有利でしょうか。

➡A. 分野学生のみが優遇されることは、学内ではないかと思われれます。他分野・他専攻の学生も例年、免許状を取得したうえで幼稚園教諭になっています。幼児教育に関する自主学習を、分野の垣根を越えて進めてはどうでしょうか。

Q3. 在学中に教育発達専攻内の他分野に所属を変更することはできるのか。

→A. 「変更できない」という規則はありません。前例も知りません。ただし分野教員の下承が必要です。教員を納得させるためには、十分な学業成績を修めることが最低条件かと思われます。以上は、幼児教育分野教員の考えです。他分野教員の考えは確認できていません。

4. 教員研究テーマ

川端美穂（発達心理学）

人間が人間をみる場合は、物や生物を観察する場合とは異なり、相互主体的なかかわりのなかで相手を見て感じて主観的に「分かる」という事実があります。特に、養育、保育、教育、臨床などさまざまな対人実践の現場においては、一方の主体である相手について、もう一方の主体である自分に何か「分かる」、「感じられる」「伝わってくる」という事態が生まれ、それがその営みを動かしていくという点で極めて重要な意味を持っています。この「間主観的に分かる」ことのメカニズムと乳幼児期の発達において果たしている役割について、保育のフィールドで研究しています。

稲井智義（幼児教育学、教育思想史、教育政治学、子ども観の社会史、子ども学）

私は幼児教育の歴史と思想を研究しています。親がいない子どもや貧困世帯の子どもはどのように教育を受けていたのでしょうか。19 世末の日本で設立された孤児院と保育所、夜間小学校は幼児と児童に教育を提供しました。あらゆる子どもに生活と教育を保障するという理念はこの頃から広まり、今なおその実現の仕方が問われています。歴史研究を通じて、多様な背景を持つ子どもに対する公教育と福祉制度、社会との関係を問い直します。

新入生のメッセージ

稲井 智義

質問や疑問、不安なことは、[inai.tomoyoshi【アットマーク】a.hokkyodai.ac.jp](mailto:inai.tomoyoshi@a.hokkyodai.ac.jp)、または他の教職員に相談してください。異なる事情（出身・家族・経済・文化・思想…）を持つ学生・子どもたちが安心してともに学ぶために必要な想像力と知性を、みなさんと一緒に磨きたいと思います。教員は何を大切にしているかをシラバスや配布資料から読み取り、他者から強制されずに、自分自身の判断で履修計画を立てることを勧めます。分野が決まると、その分野のいくつかの授業を単位修得しないと卒業できません。全専攻の専門科目（のほとんど）は、他分野・他専攻の学生でも関連免許取得を希望しなくても、履修できます。以下の点を共有した学生が分野を問わず、一人でも現れることを願っています。

- ・あらゆる常識や思い込みを疑い、すべての学問で蓄積されてきた知見を謙虚に学ぶ。
- ・今の（あるいは未来の）子どもたちを含むすべての人々の幸せを実現するために、今の自分は何ができないかを知り、自分がこれから何をすべきかを真摯に考えて取り組む。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

ここでは、特に伝えたい3点について説明させていただきます。この資料が、皆さんの分野決定の参考になれば嬉しいです。

◎取得免許について

- ・小学校教諭1種
- ・幼稚園教諭1種（他分野でも取得可能）

その他副免許として、特別支援学校教諭1種・2種、中学校教諭1種・2種、学芸員、図書館司書などを取得することも可能です。

◎幼児教育関連の講義について

幼児教育に関連する講義が多いのも幼児教育分野の特色です。

非常勤講師による講義や演習も多く、現場ですぐに使える力を身につけることができます。

○フィールド研究Ⅱ（2年生で受講します）

実際に幼児教育の現場で1日子どもたちと触れ合い、教師や子どもの様子を間近で観察することができます。訪問先を自分たちで決めることができるのも魅力の一つです。

昨年度の訪問先 教育大付属幼稚園

わかば保育園

森のようちえん ぴっばら（コロナウイルスの影響で延期）

◎ゼミ活動について

ゼミ活動は、学生が主体となって行うものです。金曜日4・5コマの時間帯に行います。幼児教育分野では、その日に行う内容や日程など、すべてを学生が考えて行っています。

○ゼミ活動の主な内容

- ・造形活動を行う。（例：名札作り、新聞紙でおもちゃを作るなど）
- ・「手遊び」「絵本の読み聞かせ」「折り紙の習得」をする。
- ・簡単なピアノ伴奏を習得する。

→「ピアノが全く弾けない…」という人、全然大丈夫です！先輩の中には、ドレミの位置もわからない人もいました。今では楽譜を読むことができ、また簡単な伴奏を弾くことができます

- ・幼稚園・保育園に行き、幼児と触れ合う。
- ・保育士試験の内容について触れる。

→保育士試験は、各自で申し込んで受験する形になります。もちろん他分野でも受験可能です。

受験内容についてなど、質問がある学生は、他分野でも遠慮なくご質問ください！